

開催の趣旨

20世紀、経済の成長とともに都市は急速に規模を拡大しました。その過程で、都市の様々な建造物構築のために、豊かな自然を次々と破壊してきました。これまでの都市づくりにおいては効率性・機能性が重視され、自然破壊の問題は軽視されてきました。

しかし、地球環境問題の深刻さへの理解が深まるなか、21世紀の都市づくりにおいては、環境への負荷軽減と自然との共生が不可避の課題になると思われます。

今回のワークショップでは「都市と自然 - 自然のメカニズムに配慮した都市づくり - 」を募集課題とする特別研究助成に採択された2つの研究チームからその研究成果をご報告いただきます。

千葉大学・園芸学部の大室幹雄教授を代表研究者とする研究チームからは、「大都市臨海部の産業施設移転跡地における自然環境の創出と活用に関する総合的研究」について、大阪大学・大学院工学研究科の山口克人教授を代表研究者とする研究チームからは「大阪湾奥部沿岸域における自然の摂理と共生した海陸一体の都市づくりに関する研究」についてご報告いただきます。

また、報告に続く総合討論では、慶應義塾大学・環境情報学部石川幹子教授にコーディネーターをお願いし、講師と参加者の皆様で今回のテーマについて討論いただきます。

今回の2つの研究チームによる実験的な試みや様々な提案が、都市の住民や行政に理解され、支持されて、「環境にやさしく自然豊かな都市づくり」として具体化されることを願っています。